

光高図書だよ



2017年4月27日発行 光高校図書委員会

新学期の始まりは少し肌寒く、天候もあまりよくなかったので、家にこもりがちになりました。本をじっくり読むには絶好の機会でした。最近はずっと晴天の日が続く、屋外を飛び回りたい衝動にかられます。でも、お気に入りの本はいつも手に持っていたいものです。外でも読みたくなる物語を、図書室で見つけないか。

2年3組図書委員 T、M

本年度前期委員会目標

図書室企画に工夫を凝らして取り組むことにより、図書室利用を活発にしていく。

——昼休みの利用者数が1日25人以上を目指す。

——生徒一人ひとりが1ヶ月2冊以上本を借りることを目指す。

～生徒の皆さんへ～

昼休みに図書室を積極的に利用し、1ヶ月に2冊以上本を借りよう。

図書室の利用の仕方 ※図書室は管理棟3階にあります。

利用時間： 昼休み 12:15～12:55

放課後 15:50～18:00

貸出冊数と期間： 1人2冊まで、2週間

貸出・返却方法

借りるとき→①図書委員に借りる図書を差し出し、自分のクラス、氏名を告げ、**バーコード処理**をもらう。

②バーコードで処理できないときは、カウンター上の**貸出簿に必要事項**を記入する。

返すとき→返す本を**図書返却ボックス（カウンター右）**に入れるだけでOK。

お願い 図書室では**静かに**しましょう。**飲食禁止**です。本は丁寧に扱きましょう。



<図書室担当スタッフ>

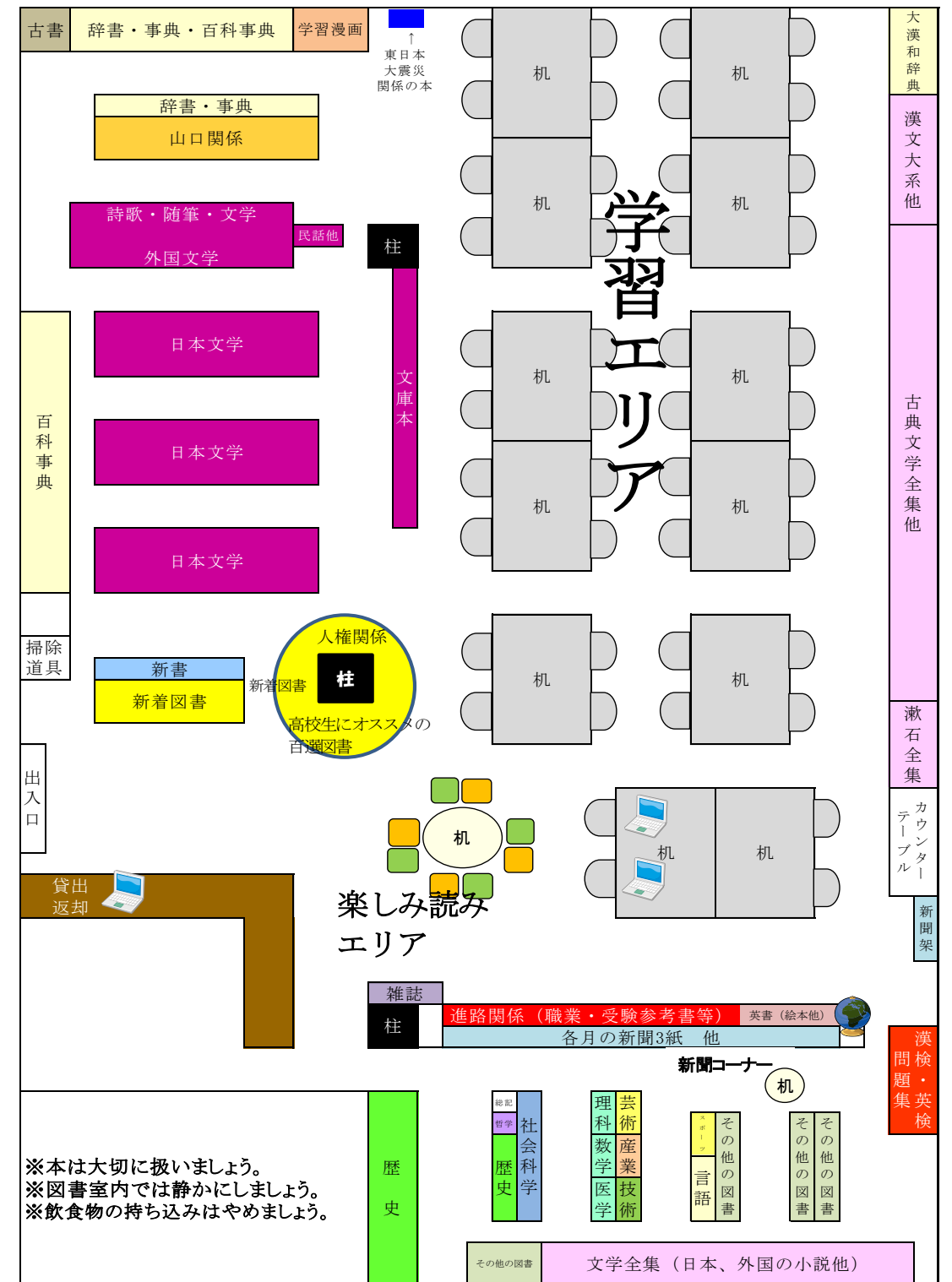
委員長：3年1組女子

副委員長：3年3組男子 各クラス図書委員（図書委員は全部で28名）

図書室担当教員：井宮先生 播元先生、末岡先生（事務室）

※1年間、よろしくお願いします。

光高校図書館内図



新着本の紹介

※3月から4月にかけて、寄贈本も合わせると40冊の本を入れました。以下に紹介します。

<フィクション>

「騎士団長殺し 第1部 頭れるイデア編」村上春樹／著

画家として肖像画の依頼を引き受けている「私」を取り巻く愛憎模様が、何ものにも変化する文章で鮮明に描かれている。「私」が妻と別れた後に巡る旅の中で出会う、異質な依頼者たち。「私」を巻き込む歪んだ性関係は、一体何処まで続くのか？ 偶然が偶然を呼ぶアダルトティックストーリー！

「騎士団長殺し 第2部 遷ろうメタファー編」村上春樹／著

「サバイバル ファミリー」矢口史靖／著

「罪の声」塩田武士／著

「フィクションでなければ書けなかった『本物』のグリ森事件がここにある！」
(八重洲ブックセンター書店員の声より)

「たとえ明日、世界が減びても今日、僕はインゴの木を植える」瀧森古都／著

号泣する準備ができるまでは、決して読まないでください。(本の帯より)

本屋大賞にノミネートされ、数々の賞も受賞、今、話題になっている本。塩田氏は本書あとがきに「戦後最大の未解決事件は『子どもを巻き込んだ事件なんだ』という強い思いから、本当にこのような人生があったかもしれない、と思える物語を書きたかった」と。

<ノンフィクション>

「どんな時でも人は笑顔になれる」渡辺和子／著

本書は、著者が帰天の10日前に校閲を終えた遺作です。「学歴や職歴よりもたいせつなのは、『苦歴』『人の使命とは自らが笑顔で生き、周囲の人々も幸せにすること』……私たちの心を揺さぶる言葉がたくさんあります。

「世界が憧れた日本人の生き方 日本を見初めた外国人36人の言葉」

天野瀬捺／著

旅人として20年近く海外で過ごした著者は、忘れられていた日本の力に気付いたという。「気持ちよく挨拶する」「自発的に学ぶ」「社会を快いものにするべく配慮する」、36人の外国の著名人の言葉とともに、日本を見つめなおす1冊。

本書にはアインシュタインの言葉も紹介されています。「日本には、人と人が容易に親しくなれるひとつの理由がある。それは、自らの感情や憎悪をあらわにしないこと」だと。

「どうせ無理」と思っている君へ 本当の自信の増やし方」植松 努／著

「こんな僕でもできたんだ。従業員20人の町工場でロケットを作り宇宙開発の夢を追い続ける僕が、大切な君に、勇気と希望を贈ります」(本の帯より)

「情報を活かす力」池上 彰／著

なんとなく分かっているも本当は十分には分かっていない。私たちの周りにはそんな情報が山のようにあります。本書は、私たちに情報の整理術・活用術を授けてくれます。

「ティスニー キス十の神様が教えてくれたこと」鎌田 洋／著

「読むだけで楽しい 数学のはなし」池田洋介／著

集めたゴミを、ほうきでちりとりの中にすっと掃き入れるが、必ずちりとりのラインに沿ってゴミが少し残っています。この現象を数学的に考えてみるとどうか。そんな話がいっぱい出てくる本です。

「子規と漱石 友情が育んだ写実の近代」小森陽一／著

「図解 眠れなくなるほど面白い 物理の話」長澤光晴／著

「図解 眠れなくなるほど面白い 化学の話」長澤光輝／著

上の2冊は、身の回りの「なぜ」を、物理で、化学で解き明かす本です。「眠れなくなるほど面白い」本かどうか、試してみませんか。

著者の池田先生は、大手予備校の講師で、プロパフォーマーとしても活動されています。本書には、「時に笑いながら、時に頭をひねりながら楽しく読み通すことができる40のお話」がまとめられています。数学が苦手な人、読んでみるべし！

岩波ジュニア新書

本書は、コピー時代を生きる私たちにとって必読の書といえます。内容は決して難しくありません。まず、著作権ルールを理解しましょう。

「財政から読みとく日本社会 君たちの未来のために」井手英策／著

「正しいコピーのすすめ 模倣、創造、著作権と私たち」宮武久佳／著

他人が撮った写真をSNSにアップする、web上の文章を自分のレポートに貼り付ける、ネットで見つけた動画をダウンロードして視聴する…、これらの大半が著作権に関係しています。「許されるコピー」と「許されないコピー」の違いは何なのでしょう？ コピー時代を生きるために必要な著作権ルールをわかりやすく解説します。(裏表紙紹介文より)

寄贈 ※以下の本は、昨年度末に転勤された数学科の田房伸行先生、地歴公民科の山本利博先生が寄贈してくださったものです。ありがとうございました。

「アインシュタイン150の言葉」

ジェリー・メイヤー、ジョン・P・ホームズ／編

「地球家族 世界30か国のふつうの暮らし」

マテリアルワールド・プロジェクト／著

「ちびギャラ ろくっ」ボンボヤージュ／著

「はてなシリーズ vol.4 日本のはてな」はてな委員会／編

「金八語録3」小山内美江子／著

「学習漫画 世界の歴史」全16巻 木村尚三郎／監修

「学習漫画 世界の歴史 人物事典」木村尚三郎／監修

「学習漫画 世界の歴史 できごと事典」木村尚三郎／監修

「学習漫画 世界の歴史年表」木村尚三郎／監修



左の上の5冊は田房先生からの、下の学習漫画シリーズは山本先生からの寄贈です。読書はもちろん、調べ学習等にも活用したいと思います。ありがとうございました。

お知らせ

★現在、「こどもの読書週間」の期間中です

4月23日は「サン＝ジョルディの日(本の日)」と言います。発祥の地であるスペインのカタルーニャ地方では親しい人に本を贈る記念日だそうです。日本では4月23日を「子ども読書の日」とし、この日から5月12日までを「こどもの読書週間」としています。



★年間多読者(貸出冊数上位の者)に素敵なプレゼント、さし上げます!

本年度も多読者の皆様にはプレゼントを用意します。貸出記録は4/1からスタートし、1月末で締め切ります。全員にチャンスがあるので、多読者賞を目指してどんどん本を借ります。

★春休みに借りた本、未返却の人は至急返却してください。

あなたが借りた本が返ってくるのを今か今かと待っている人がいます。早く返却してください。